

〔創造部門〕

1. 氏名 父：坂口 信男（能楽師 観世流シテ方）
子：坂口 貴信（能楽師 観世流シテ方）
2. 年齢 父：78歳、子：47歳 ※R6.1.16現在
3. 住所 父：福岡市中央区
子：東京都（出身：福岡市）



【経歴及び選考理由】

坂口 信男氏（父）・貴信氏（子）

父：信男氏は、昭和47年に「坂口松謡会」を継承。現在は、子：貴信氏とともに、親子で「坂口松謡会」を主宰し、お弟子さんのお稽古や年1回の発表会を開催している。

さらに、親子で、平成17年から毎年恒例開催となっている「能楽体験講座『箱崎教室』」の講師を務め、地元・筥崎宮ゆかりの能「箱崎」や能「唐船」の謡と仕舞の指導を行うなど、能楽の普及や次世代の能楽師育成に尽力している。

伝統芸能を父から子に引継ぎ、父：信男氏は福岡において長く能楽界を支え続け、子：貴信氏は伝統芸能を守りつつ歌舞伎とのコラボなど現代に合わせた演出により、福岡・東京をはじめ海外での多彩な活動を展開する。このように、親子で能楽の普及・継承に尽力しており、本県の伝統芸能の振興に貢献している。

坂口 信男氏（父）

昭和25年5歳にして、仕舞「鶴亀」で初舞台を踏む。大西信久の内弟子として入門。9年間の修行を経て、昭和47年独立。公益社団法人能楽協会九州支部所属。

公益社団法人能楽協会九州支部初代副支部長として、能楽の普及・継承に努めるとともに、県が能楽の振興を図り設置した「福岡県伝統文化普及協議会」会長、「福岡県能楽普及実行委員会」委員長を務め、能楽入門講座の開催に尽力するなど、長年にわたり本県における能楽の普及に貢献している。

坂口 貴信氏（子）

昭和53年2歳にして、「鞍馬天狗 花見」で初舞台を踏む。二十六世観世宗家・観世清和師の内弟子として入門。8年間の修行を経て、平成22年独立。公益社団法人能楽協会東京支部所属。

国内外において能楽の公演活動を行うとともに、東京藝術大学非常勤講師、国立劇場養成所講師として後進の育成にあたるほか、市川海老蔵（現：市川團十郎白猿）の歌舞伎座一ヶ月興行への参加、能面型3Dメガネで鑑賞する3D能や、ヴァーチャルリアリティの情報技術を駆使したVR能の監修及び出演を行うなど、能楽の普及を目指した多彩な活動を行っている。

【坂口 信男氏（父）】

■役職歴

- ・福岡観世会設立理事
- ・公益社団法人能楽協会九州支部 初代副支部長
- ・福岡県伝統文化普及協議会
*設置：H3～H17 信男氏は、H17に会長を務める
- ・福岡県能楽普及実行委員会
*設置：H18～R2 信男氏は全期間、委員長を務める

■公演歴

- ・よかとピア 能公演「石橋」
- ・福岡ドーム 能公演「吉野天人」
- ・上海万博 能公演「石橋」
- ・アジア美術館 能公演「猩々」

■受賞歴

- ・重要無形文化財総合保持者認定（S61）
- ・福岡市文化賞（R4）

【坂口貴信氏（子）】

■役職歴

- ・東京藝術大学 非常勤講師
- ・国立劇場伝統芸能伝承者養成所 講師

■公演歴

- ・「坂口貴信之會」（H24から10回開催）
- ・「MUGEN∞能」（H27から17回開催）
- ・「三人の会」（H28から9回開催）
- ・海外公演
ベルサイユ宮殿（パリ）
リンカーンセンター（NY）
カーネギーホール（NY）ほか

■受賞歴

- ・重要無形文化財総合保持者認定（H29）

（参考）創造部門：個性的・創造的な文化活動を行い、優れた業績を残し、県民文化の向上・発展に貢献したもの